



2022年6月9日

各 位

会 社 名 株式会社ナ・デックス  
代表者名 代表取締役社長 高 田 寿 之  
(コード番号 7435 東証スタンダード)  
問合せ先 専務取締役管理本部長 進 藤 大 資  
TEL 052-323-2211

## 通期連結業績予想と実績との差異 および剰余金の配当(期末配当)に関するお知らせ

2021年6月9日に公表いたしました2022年4月期通期連結業績予想と本日公表いたしました実績に差異が生じたのでお知らせいたします。あわせて、本日開催の取締役会において、2022年4月30日を基準日とする剰余金の配当について、2022年7月26日開催予定の当社第72期定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年4月期通期連結業績予想と実績との差異(2021年5月1日～2022年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,350	905	990	640	68.84
実 績 値 (B)	34,611	1,176	1,406	1,005	108.14
増 減 額 (B-A)	261	271	416	365	
増 減 率 (%)	0.8	30.0	42.1	57.1	
(ご参考)前期実績 (2021年4月期)	30,735	627	877	560	60.40

#### 【差異の理由】

当連結会計年度におきましては、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展や行動制限が緩和されたことにより経済活動の持ち直しの動きが継続しておりますが、半導体などの部品不足の影響により、従前に比べ納期が長期化する傾向が見られました。このような状況を鑑み、2021年6月9日に公表いたしました通期の連結業績予想を据置いてまいりましたが、第4四半期連結会計期間(2022年2月1日～2022年4月30日)におきましては、部品不足の影響を最小限に留めることができました。

以上により、通期の連結業績といたしましては、特に北米および東南アジアセグメントで業績予想を上回る状況で推移したことなどもあり、売上高は346億1千1百万円と前回発表予想に比べ2億6千1百万円(0.8%)の増収となり、営業利益は11億7千6百万円と前回発表予想に比べ2億7千1百万円(30.0%)、経常利益は14億6百万円と前回発表予想に比べ4億1千6百万円(42.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億5百万円と前回発表予想に比べ3億6千5百万円(57.1%)のそれぞれ増益となりました。

## 2. 剰余金の配当(期末配当)

	決 定 額	直近の配当予想 (2021年6月9日公表)	前 期 実 績 (2021年4月期)
基 準 日	2022年4月30日	2022年4月30日	2021年4月30日
1株当たり配当金	26円00銭	14円00銭	16円00銭
配 当 金 総 額	241百万円	—	148百万円
効 力 発 生 日	2022年7月27日	—	2021年7月28日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

### 【修正の理由】

当社は、株主に対する利益還元を重要な課題と認識しており、財務体質の強化や将来の事業展開に備えた内部留保の充実などを総合的に勘案しつつ、業績に連動した配当を安定的かつ継続的に行うことを基本方針としております。業績に連動した指標としては連結配当性向30%以上とします。連結配当性向により算出された年間配当金額が10円を下回る場合でも、年間10円の配当を堅持できるよう努めてまいります。著しい経営環境の変化などの特殊要因により、親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する場合等には、その影響等を考慮し配当金額を決定することがあります。

2022年4月期の期末配当につきましては、業績および連結配当性向などを踏まえ、1株につき26円といたしました。

### (ご参考) 年間配当の内訳

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
当 期 実 績 (2022年4月期)	7円00銭	26円00銭	33円00銭
前 期 実 績 (2021年4月期)	3円00銭	16円00銭	19円00銭

以 上